

震災学^{Semiannual} vol.3

2013年
10月25日
刊行
〈年2回刊〉

【A5判224頁 本体価格1800円+税】ISBN 978-4-904863-35-0

発行◎東北学院大学 発売◎荒蝦夷

東日本大震災の被災地に建設された応急仮設住宅は53500戸。建物としての、コミュニティとしての、そして震災のプロセスとしての仮設住宅とは何なのか。その歴史を繙き、阪神・淡路大震災や北海道南西沖地震、雲仙・普賢岳噴火災害の当事者の報告など、さまざまな角度から〈カセット〉を見つめる。震災から2年半。今なお仮設住宅に暮らす10家族の声も収録。

特集 仮設住宅

〔巻頭言〕佐々木俊三（東北学院大学教授）

【第1章 守りたい 東北の大地】

〔基調講演〕富山和子（環境問題評論家）

パネル
討論
富山和子
結城登美雄（民俗研究家）
佐久間政広（東北学院大学教養学部部長）

【第2章 福島へ】

大石芳野（写真家）

アイリーン・美緒子・スミス
（グリーン・アクション代表）

〔エッセイ〕玄侑宗久（作家）

東北学院大学●宮城県仙台市。1886年、キリスト教伝道者の育成を目的に「仙台神学校」として開校。2011年3月11日の東日本大震災発生直後、学内に災害ボランティアステーションを開設。全国の大学と連携して被災地支援を展開する。

【第3章 仮設住宅とは何か】

座談会
臼澤良一（大槌町小鍬仮設団地代表）
駒林奈穂子（釜石市Office R代表）
佐藤康男（東松島市宮戸小学校仮設自治会長）
金澤大樹（栗駒沼倉耕英地区行政区長）
山中茂樹（関西学院大学災害復興制度研究所）

古関良行（河北新報社報道部副部長）

磯辺康子（神戸新聞編集委員）

麓敏也（奥尻町町議会議長）

清水眞守（FMしまばら代表取締役）

金本金栄（島原新聞記者）

中島禮子（元島原市保健師）

阿部重樹（東北学院大学教授）

〔聞き書き〕〈仮の住処〉を生きる
応急仮設住宅居住者の声

【第4章】地域と震災

金菱清（東北学院大学准教授）

酒井朋子（東北学院大学講師）

姉帯俊之（IBC岩手放送放送本部編成局次長）

山川徹（ルポライター）

お買い求めは各書店または
オンライン書店honto (<http://honto.jp/index.php>) にて。

〒982-0803 仙台市宮城野区小田原2-2-27-201 TEL&FAX.022-298-8455

HP.<http://homepage2.nifty.com/araemishi/>

Facebook.<https://www.facebook.com/araemishi>

Twitter@araemishi

